

経営比較分析表（令和4年度決算）

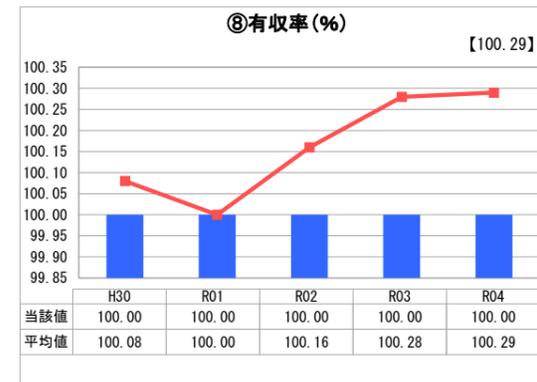
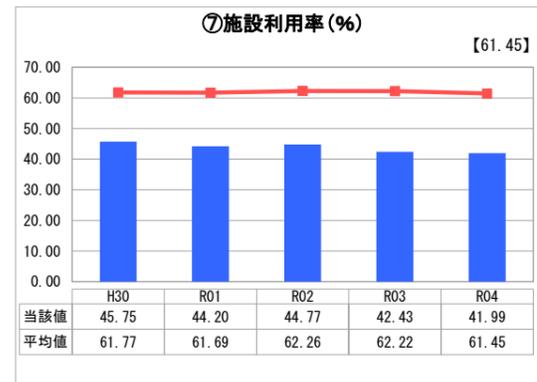
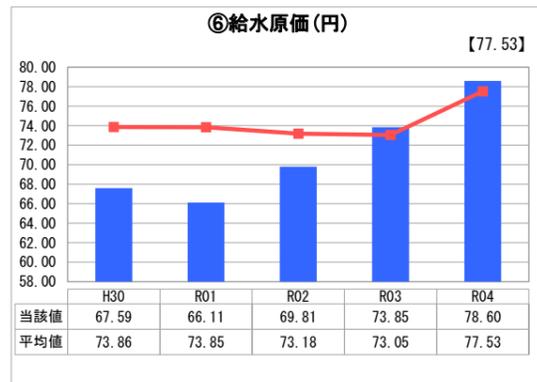
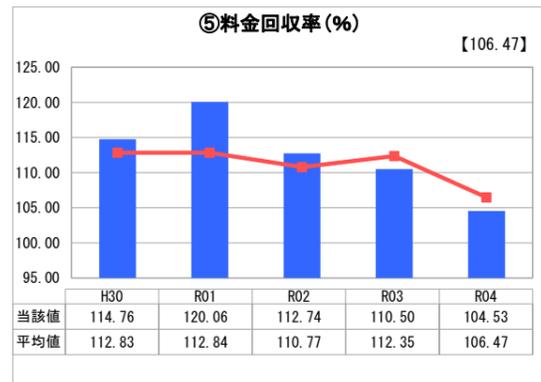
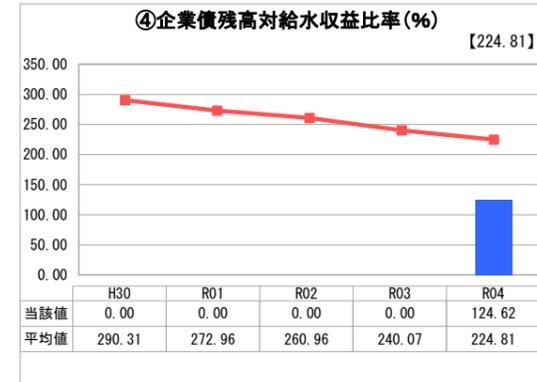
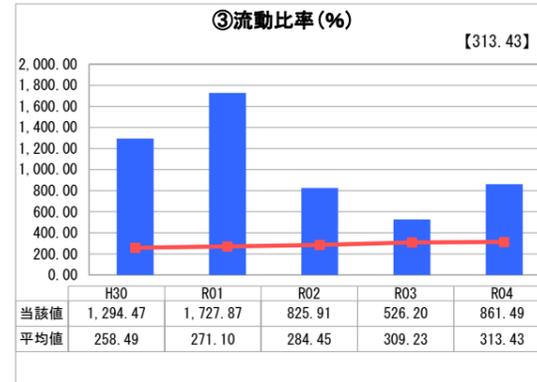
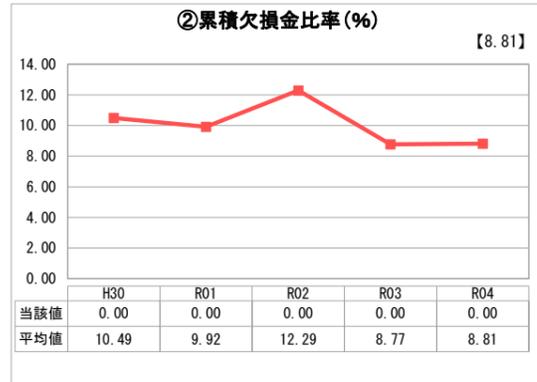
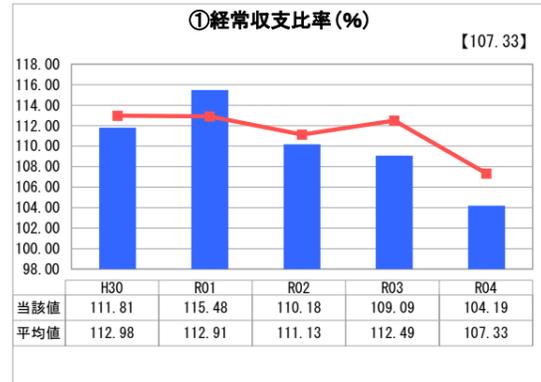
愛媛県 津島水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	91.26	13.26	0	

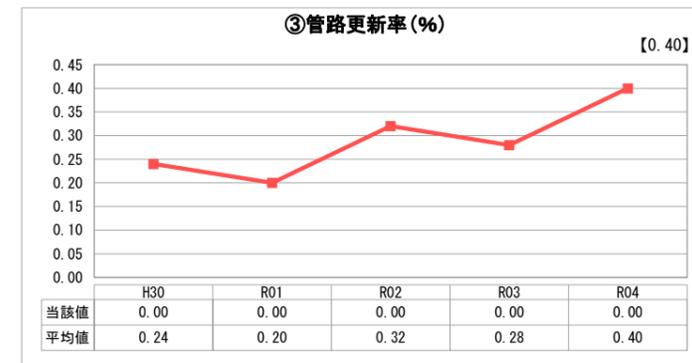
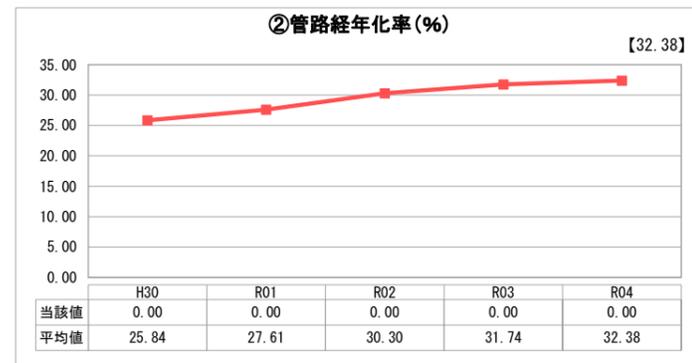
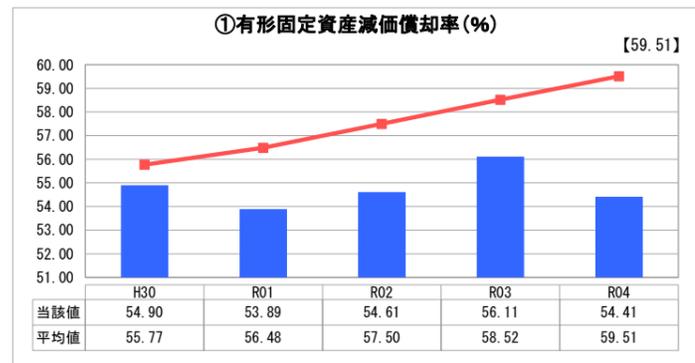
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
11,750	246.96	47.58

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
[]	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

累積欠損金は無いが、経常収支比率や料金回収率はここ数年減少傾向にあり、経営状況は厳しくなっている。
 施設利用率から見ても、給水人口及び給水量が年々減少しており、将来的に増収となる要因が見込めない。
 流動比率は依然として平均値以上の数値を維持しており、短期的な支払能力に問題は無いが、経営状況は上記のとおり厳しくなっている。
 給水原価の上昇は、諸々のコスト増による影響が大きい。
 また、設備更新費用として令和4年度より企業債を借入しており、返済完了するまで一定期間は償還が負担となる。
 今後の経営基盤の強化及び効率性を維持、推進するために宇和島市水道局との事業統合に向けた協議を進めている。

2. 老朽化の状況について

長野・嵐・狩津の3つの浄水場を有しており、給水開始から42年が経過して老朽化が進んでいるため、令和3年度から設備の更新工事を実施している。
 老朽化の著しい機械及び設備を中心に計画しているが、更新対象は優先度の高い一部の設備に留まる。
 また、設備更新までに至らない修繕費用も増加しており、費用増加の要因となっている。

全体総括

給水人口の減少や費用の高騰などの影響により、給水原価は上昇、経常収支比率は減少しており、経営環境は益々厳しくなっている。
 事業の健全性と生活用水の安定供給を維持するために、愛媛県水道広域化プランに基づいて宇和島市水道局との事業統合に向けた協議を進めているところである。